

れんげそう



＜ 第42回（5月28日）定例総会を終えて ＞

お忙しい中、皆さまのご参加をいただき、無事に総会を終了いたしました。当社協は、各自治会、老人会、民生委員、児童委員及び地域の皆様と活動しております。ご理解、ご協力、またご意見等をお寄せいただければ幸いです。

これからも、浦和北部第二地区社会福祉協議会をよろしくお願い致します。

発行
浦和北部第二地区
社会福祉協議会広報部
会長 佐藤定雄

さいたま市浦和区領家4-21-21
領家公民館2階
電話 048-831-2991



私の想いで

浦和北部第三地区社会福祉協議会顧問 坂本 和哉



平成2年、前瀬ヶ崎自治会長の武藤安雄氏の急逝に伴い、副会長であった私が後を引き継ぎ、以来24年間会長職を汚して参りましたが、昨年90歳を期に、現在の鈴木運慶会長に後継をお願いし、現在に至っております。

会員は1081戸が1700戸となり、催事も新年会、総会、防災訓練、敬老会、書初め大会、正月遊び、凧作り、ふれあい会食、ごみゼロ運動、自転車安全運動、七夕づくり、親子餅つき大会など2000名を越す会員の皆様と共に、様々な催しを計画し、地域を挙げて参加しています。「住んで良かった地域作り」が私のモットーで、自治会の総てがここに始まります。

今年は終戦71年となり、あの苦しかった生活から立ち上がった日本人の強さは海外の驚嘆とするところです。

公に尽くす精神は、地域の中で「公民館にたいする奉仕」がそのひとつに挙げられます。毎年末に実施する館内大掃除に地域（領家・瀬ヶ崎）の人々100名以上が集まり、徹底清掃を約2時間程度行います。

また、私共の老人会は、昭和37年初代会長 故武笠敏氏が自治会設立の際、市よりの勤めもあり作られたもので、当時は40から50名程でしたが、平成2年自治会改革と同時に、改めて会員募集を行い、現在は約100名を超え、盛会を極めていきます。

私は自治会会長就任以来、高橋駒場自治会長のもとに副会長として社協の維持、進行に努めてまいりました。特筆すべきことは有りませんが、この紙面作りや校正その他、陰の力を尽くして来たつもりです。どうぞ役員の皆様が一層団結力を発揮され、世界に冠たる「高齢者社会づくり」に励まれますよう、お願いを申し上げます。

《 前島自治会です 》



瀬ヶ崎地区の一番南側、駒場運動公園との境に在る、会員数500世帯弱の地域です。住居表示には出てきませんが、古い地名で、明治時代には瀬ヶ崎村の中に神花、三島、中、駒場と並んで前島の名前が出てきます。弥生時代の集落跡の遺跡も出たそうです。現在は暗渠になっていますが、藤右衛門川の支流があり、前島橋という小さな橋もあったそうです。水で苦労したこともありますが、今は住宅街として役割を担っています。地域の保育園から元気な声が響き、道祖土小学校に通う子供達のにぎやかな声も毎朝聞こえてきます。自治会では有志の方々が見守り活動を行い、子供達の下校時の安全をお手伝いしております。また、高齢者を対象に毎月一度の「憩いの日」、春と秋の「高齢者食事会」など、地域のコミュニケーション作りを大切にしております。



領家交番からお知らせです



1. 交通事故に遭わないために！！
自宅付近の交差点とその付近を横断中の事故が多く発生しています。交差点を横断するときは、直進車だけではなく、曲がってくる車にも注意しましょう。
2. 詐欺被害に遭わないための3ない行動！！
還付金や給付金の支給を装いATMの操作をせかさず還付金等詐欺に注意しましょう。被害防止には「在宅中も留守番電話」が効果的です。現金を振り込まない・送らない・手渡さない の、「3ない行動」を心がけましょう。

～☆～

< 編集後記 >

れんげそうミニNo.2をお読みいただき、ありがとうございます。次回は9月に発行予定です。紙面に対するご意見や、ご投稿をお待ちしております。(広報部)